

2020年度第1回日本包装専士会理事会議事録

2020年12月7日作成
事務局

開催日時：2020年11月26日（木曜日）15：00～

会 場：リモート

出 席：及川、春日、加藤、小林（義）、島田（賢）、島田（道）、下村、竹内、中村、
成田、橋本、渡辺、嶋

欠 席：北島、小林（浩）、鈴木、高畑、中山

関西理事出席：今田、平田、三橋

内 容：

会長方針

本年度総会にて会長を拝命した際、出席された理事の方々には、コロナウィルス禍で当会の運営の環境も大きく変わり、会員企業の皆様の状況によっては当会の存続にも関わることになることが予想され、ポストコロナでの新たな取組が求められることを話しました。理事会開催がコロナ第3波の時期になり開催スタイルも急遽オンラインに変えることとなりましたが、そのことで関西理事の方々も出席頂くことが可能となり、新たな当会のスタートを切るきっかけともなったと考えています。

今後の当会のあり方を含め、方針案をあげます。

1. 会員とともに歩み、包装界と社会に貢献する。

1. 委員会の運営方法見直し（委員資格、委員会以外のあり方等）
2. 会員に対する魅力の提供（フィードバック、メリット等）
3. 社会に貢献する取組の検討（何が可能か、皆さんと検討して参ります。）

2. 当会外の組織等（有識者含む）との連携を深める。

1. JPDA、国立環境研等の現状の取組及び他の新たな取組の検討
2. 大学との連携
3. ICTの活用（情報の発信と活用）

3. ポストコロナに見合った組織運営を図る。

1. 理事制度の見直し（現役理事の環境変化に対応）
2. 会員制度の見直し（会費、会員資格等）
3. 法人格の検討

委員会報告

事務局

定期総会

6月23日（火）開催。会場は安原現顧問のご厚意で岡田紙業殿の東京支店会議室をお借りした。会長選出を始めとした役員選出他、議案は賛成多数で可決。

包装界合同賀詞交歓会は中止

会員推移

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
前年度有効会員数	173	178	167	168
新規数	12	6	5	4
休会数	8	9	11	10
退会数	7	5	4	8
退会扱（3年未納）		13		6
有効会員数	170	157	157	148

2020年11月16日現在

委員会役割分担

昨年度の分担は下の通り（理事退任者は除外）

委員会	事務局	情報	セミナー	展示	未来包装	関西
委員長	嶋	鈴木	及川	加藤	島田	平田
輸送包装		下村	小林・下村	小林・下村 ・中村		
包装材料		嶋・高畑		鈴木・高畑		今田・山本
食品包装		竹内・橋本	北島・橋本	春日	北島・小林・ 島田・中山・ 成田・橋本	岡・白井
医薬品包装	渡辺					清水・田中・ 三橋

情報委員会

ホームページ更新



データ格納について、格納方法等でアンサンブとの間で認識の違いがあり、その後代替案の提案もあったが、今案件は放置して滞っているので再度アンサンブと進めることにする（12月3日）。

「包装技術」執筆計画

「包装技術」執筆計画				
				2020年11月24日
	内容案	担当	締切	状況
4月号	関西委員会活動報告	関西委員会	終了	
5月号	包装技術セミナー報告	セミナー委員会	終了	
6月号	ホームページ更新	情報委員会	終了	
7月号	日本包装専士会理事会の紹介	情報委員会	終了	
8月号	日本包装専士会の紹介	情報委員会	終了	
9月号	日本包装専士会理事会の紹介	情報委員会	終了	
10月号	日本包装専士会の紹介	情報委員会	終了	
11月号	日本包装専士会理事会の紹介	情報委員会	終了	
12月号	日本包装専士会の紹介	情報委員会	終了	
1月号	東京パック関連	展示・未来包装委員会	11月末	JPIへ提出
2月号	東京パック関連	展示・未来包装委員会	12月末	進行中

活動停滞により7月号以降は「日本包装専士会理事会の紹介」と「日本包装専士会の紹介」を交互に掲載。直近では東京パックの開催が近づいたので、1月号と2月号で日本包装専士会に関する展示とセミナーの紹介を掲載する。

展示委員会

TOKYO PACK 2021

会期：2月24～26日

ブース：西2 W2-30（入口入って直ぐ）

サイズ：5m×3m

搬入：23日（火・祝日）。今回入場券なく事前登録制（説明者も事前登録必要）

専士会ブース

ブースが狭いので、ソーシャルディスタンス確保を理由にパネル展示のみ

予備で椅子を1脚確保

スタッフリスト提出

年明けに参加日時をメール確認。午前と午後各1名で対応

未来包装委員も参加

展示内容

未来包装委員会よりAOパネル8枚（二分割してA1パネル16枚）

専士会紹介2枚、セミナー1枚（更新）、会員会社一覧1枚（同）、包装とは2枚

課題

新規制作パネル2枚の内容案。原稿締切1月29日（日本化工機材にて制作）

集中展示企画4団体共同展示の資料収集（12月4日まで）。各国の包装に関する規制、宣言により実行された事例画像

包装の歴史年表

データは加藤理事が保管している。データの整理整頓や更新の方法を確認。

ホームページで公開するのはどうか。

次回打ち合わせは12月上旬にWebにて開催

未来包装委員会

参加者(敬称略)

有田、今田、小林(義)、橋本、北島、成田、中山、島田(賢)

2020年度活動

東京パック(2021年2月)に向け、東京パック2018で示した「包装未来2030」にプラ問題、気象変動、Covid-19の影響などを加え、エッセンスの改定版を取り纏める。
国立研究開発法人 国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター 循環型社会システム研究室 主任研究員 稲葉陸太氏とのコラボ...プラスチックリサイクル有効性
マシンガンズ 滝沢 秀一 (環境省「サステナビリティ広報大使」・お笑い芸人・ごみ研究家) とのコラボ...以下セミナーご参照
東京パックでは、以下を実施する。

JPI主催 TOKYO PACKセミナー

2021年2月25日(木)10:30~12:00

国立環境研究所 × 滝沢秀一 × 日本包装専士会プレゼンツ

持続可能な社会に向けて容器包装プラスチックごみのリサイクルを考える

※未来包装研究委員会から橋本さん・北島さんが登壇

包装専士会ブースにて「2030年包装の未来予測:2つの”C”が早める未来への期待」として、AO版×8枚スペースに発表する(環境研とのコラボページも予定)。

主な活動記録(2020年)

1/28：環境研/稲葉様と個別打合せ

5/14：全体打合せ(Zoom)

5/21：環境研/稲葉様と全体打合せ(Zoom)

6/3：個別打合せ(Zoom)

6/18：個別打合せ(Zoom)

8/19：全体打合せ(Zoom)

8/21：環境研/稲葉様と全体打合せ(Teams)

9/23：全体打合せ(Zoom)

9/29：環境研/稲葉様と全体打合せ(Teams)

10/27：環境研/稲葉様と全体打合せ(Teams)

12/1：環境研/稲葉様と全体打合せ予定(Teams)

※橋本様・夏以降マシンガンズ滝沢様事務所(太田プロ)訪問を含め打合せ多数

今後の予定

1月末までにパネル展示物を纏める

セミナーのシナリオ作成は2月中旬の予定。

課題や展望など

今田さん加入は大きいですが、水野さん休会が実務面で大きな痛手となり、調査・資料作成の牽引者不在で、各委員が分担して活動頂く場面が減少している。

東京パックに向けての成果物は何とかなると思いますが、今後の定時定点での調査や未来包装予測への反映は、注視する分野やトレンドを決めて、情報共有管理テクニック手法を見つけたうえで、体制を再構築する必要がある。

次回理事会日程

1月22日（金）16時開始。今回と同様にリモートで。

以上